

高2の親の進路相談室

高校2年生とその保護者に向けて

就職後の数年はスキルを積み修行
進学の場合は自分への先行投資

過干渉と放任主義との境目はどこ？

正解は求めずに、『納得解』を探しましょう

将来の目標が持てない。やりたいことが見つからない。未来の職業とそのための進路が決まらない。そもそも、子供が何を考えているのか分からない。子供が進路を考える時、まず何から始めた方がいいのでしょうか。

皆さんの家庭では、進路の話、していますか？

昨年10月、浜北西高校では、公開授業開催時に学校内外の進路担当者を集めて「PTA進路懇談会」を実施しました。予定を上回る数の保護者が集まり、進路に関する家庭内での不安や疑問を共有し、考える機会となりました。このページでは、キャリア教育に力を入れる同校の進路指導室のお二人に、子供の進路について相談します。

回答者



進路指導主事 内山隆宏 先生
自身も高校生の娘を持ち、子供の進路相談はまさに我が事。担当する教科は書道。



教育支援員 袴田勇次 氏
大手総合楽器メーカーを定年退職後、同校のキャリアサポートセンターに着任。

Q 高校生の進路選択、親はどこまで関わればいい？

A 生徒の主体的な進路選択が望まれますから、介入や強制にならないよう気を付けたいですね。人生経験を踏まえたアドバイスに徹してほしいと思います。

A 何歳で社会に出るか、そのタイミングの判断は重要で、親から見た子どもの能力評価、親が支援できることを示し、本人自身が納得する結論を出すべきです。その際「子供が何をしたいのか」を聞き出せるかがポイントになると思います。

Q 子供の進路希望が分からない。

A 進路希望が未定という生徒も、自分なりに一生懸命考えている子が大半です。表に出せていない思いを言葉にすることが最初の一步。社会に出る時を見据え、今どうすべきかをひもときましょう。

例えば小学生の頃の夢がスポーツ選手だったとして、実際にプロになる子は限られます。でも「スポーツに関わる仕事」とすると職業の幅はグッと広がります。そうして視野を広げていくと良いと思います。

A 社会経験のない生徒に進路を語らせることは無理があると思います。周囲の大人が具体的な職業事例を挙げて選択させるくらいの方がいいかもしれません。大まかにイメージできれば、そのためにはどうしたらいいかをアドバイスすることが可能になります。

Q 高卒と大卒、就職後の違いについて

A 金銭的な部分では、生涯賃金に差がつくといわれます。



Q 進路に関する知識が少なく、子供から相談されてもうまくアドバイスできない。

A 「進学の場合」親世代の時に比べて入試制度が変わり、学部も多様化。正直、我々も困るくらいです(笑)。

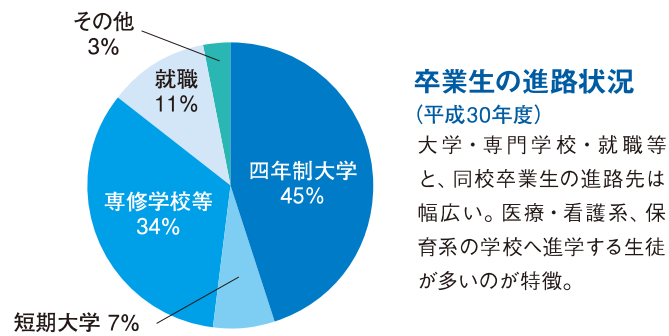
学問の幅を広げるためにオープンキャンパスや進学説明会への参加を勧めています。主体的に情報を得ようとする姿勢が鍵。親はアドバイスできなくても、大学のホームページ

Q 大学、短大、専門学校、職業訓練校。進学選択の際の判断基準は？

A 自立に向けて、高校卒業後の4年間をどう過ごすか。学問に費やすのか、それとも技能を身に付けて実務経験を積むのか。漠然とした遠い将来ではなく、まずは4年後にどう自分でありたいかを考えさせて。



県立浜北西高校は全日制普通科、男女共学の学校。平成19年度から3年間、文部科学省のキャリア教育調査研究モデル校に指定され、地域性や学校特性を生かしたプログラムを作成・実施。「探す・広げる・踏み出す」を掲げ、将来の職業や人生設計について自分自身で考えるキャリア教育を実践する。研究指定期間が終了した後も引き続きキャリアサポートセンターを設置し、教育支援員2名が生徒の就職支援などを行っている。



ですが近頃では終身雇用制が当たり前ではなくなり、実力や経験を重視する会社も出てきていると聞きます。今後、仕事も会社も大きく変わるかもしれない世の中で、その賃金差がどうなるか、なかなか答えにくいですね。その子の特性と将来的な伸びしろを考え合わせて、進学が就職かを判断してほしいです。

A 一般的に高卒入社では事務職や現場仕事でスタート。しかし入社数年後には、多くの企業で能力に応じた適材適所の配置となるようです。



「就職の場合」

世の中の会社、仕事内容、働き方の変化について新聞などで情報を得る必要があります。

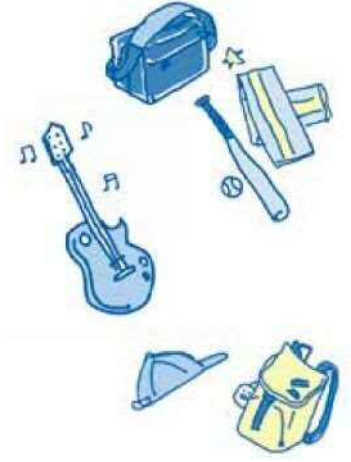
新卒採用のスケジュールについては、4月に大手企業が求人計画を公開、地方では1カ月ほど遅れて発表となり、中小企業はそれに準じると考えればいいのでは。



行く先に何がわからないで
その方向へは踏み出せない

Q 進学先で何を学ぶかが決める手でしょう。幅広く理系・文系から絞り込むなら大学、専門性・スキル取得に特化したいなら専門学校や職業訓練校を選ぶべき。実践優先なら就職です。

A アンマツチを感じたら、途中で変更して編入したり、やり直したりもいいじゃないですか。まだ若く、先は長いので。人生において遅れを取るわけではないと思います。



Q 進学後の具体的なビジョンを持つておくべき？

A 本校の2年生に聞いたところ、進学先で何を学びたいか答えられる生徒は全体の3分の1程度でした。ビジョンがあれば保護者も応援したくなりますね。

大学入試改革により、新年度から入試区分の呼称が「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」に変更

ならその準備費用や生活費も必要になります。貯蓄でカバーできない資金は教育ローンの活用が現実的な選択肢になるでしょう。



Q 「地元進学」「地元就職」のメリットって？

A 地元の学校は地元企業とのつながりを持っていますから、地元での就職を見据えるなら、地元進学のメリットはかなりあるのでは。地域を支える人材を育てようという大学も増えていますし。

ただ、一つの専門に特化している大学もあるため、地元の大学ではその分野を学べないというケースも出てきます。

やりたい事がそこにあるなら、地元以外への進学のためらう必要はないでしょう。別の町の雰囲気や土地柄を気に入るかもしれません。付き合う仲間も変わります。親元を離れる経験もいんじゃないかと個人的には思っています。

A 遠州地域は、1次・2次・3次産業のバランスが取れた、非常に恵まれた地域だと思います。

わかります。後二者では「その大学で学びたいこと」を広く深く問われることになります。

Q ビジョンを得るための情報は、いくらでもある時代です。キャリアプランニング能力を身に付けて、存分に発揮してください。

Q ツブシの利かない進路を志望しているようで心配です。芸術や音楽では食べていけないと思うのですが……。

A ここでいう「進路」が進学か、それとも生業なりわいなのかで違ってきます。

社会にはさまざまな仕事があり、企業は多様な人材を探しているようです。芸術系に進学した場合、プロの芸術家にならないまでも、就職先がないという事は決してありません。夢を追うためのモラトリアム期間(猶予期間)と考えればいいのではないのでしょうか。

ですが、高校を卒業していきなりそういう仕事に就くには、才能と保護者の理解がないとなかなか。若いうちしかそういうリスクを背負った進路は目指せないかもしれません。

具体的には農林水産業、製造業、観光業などです。世界的あるいはオンラインワンの会社も多く、働き口がたくさんあります。

そんな地元について知ってほしい。本社は遠州地域にあっても、全国または海外に拠点を持つ会社も珍しくありません。

Q 進路相談を上手に活用するためのポイントがあれば知りたいです。

A 生徒自身が思っている自分の姿とはギャップがあります。進路相談室はそのギャップを理解するための場所だと思ってください。

あくまで主体は生徒。情報をキャッチした後、自分で調べるのが大切です。

進路選択を機に、おそらく初めて生徒は未来の自分を垣間見るようになります。分からないことばかりで当然です。どのようなことが分からないのか、それをキーワードとして相談に来てください。進路相談では、そのキーワードから深掘りして将来の提案をしたいと考えます。



Q 進学時にかかる学費が気掛かりです。

A やはり奨学金や教育ローンの話になるかと思いますが、奨学金を借りるのは学生本人。対して教育ローンは保護者が借り主。日本学生支援機構の奨学金には「貸与型(返済必要)」と「給付型(返済不要)」があり、支給開始は5月6月頃から。それまでに受験費用、入学金、前期分授業料、一人暮らし

浜松市の奨学金制度

「進学したいけれど、経済的に少し不安」という方にぜひ知っていただきたい「市の奨学金制度」。浜松市では、修学に必要な学費の一部を無利子貸与しています。

1 申し込み資格 どんな人にお金を借りられるの？

次に掲げる要件を全て満たし、大学・短期大学・専門学校等に進学・在学の方が対象です。

- ① 保護者が浜松市に在住していること
- ② 学業成績優秀であること
- ③ 他の貸与型奨学金を受けていないこと

※申請時点で他の貸与型奨学金制度を併願することはできませんが、併給することはできません。ただし、返済の必要がない(給付型)奨学金との併給は可能です。

2 奨学金概要 月々いくら？ どのくらいの期間？

- ① 貸付額/月額4万5,000円以内
(例) 上限額4万5,000円を大学在学中の4年間借りる場合の総額
4万5,000円×12カ月×4年=216万円
- ② 貸与の期間
奨学金の貸与期間は、その学校における正規の修学期間とします。
※留年による貸付期間の延長はありません。
- ③ 返済方法
貸与を受けた3倍に相当する期間内に(貸与期間4年の場合、返済は12年以内)年2回または年1回の均等払いにて返済していただきます。

お問い合わせ
053-457-2406
浜松市教育委員会
教育総務課 奨学金担当

詳細はこちら! /